

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	みんなの木 田井城
------	-----------

公表日 2025 年 5 月 2 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		空間を活動目的ごとに分けている為、安全な活動及び見守りが出来ています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		指定基準を満たしています 今後、より良い支援の為に職員専門性を高めていけるよう努力します	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		玄関からフラットな床で、段差はありません 手すりは設置していません	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		毎日清掃を行い、活動に合わせた空間に変えています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		個室等を設け必要に応じて、使っています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐		定期的に外部の専門職の方との研修などを通じ、支援状況の報告をし、具体的なアドバイスを頂いています その際、パート職員にも参加を呼び掛けて参加しています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		サービス内容に関してのアンケートを毎年実施し、活動に反映できるよう取り組んでいます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		毎日振り返りのミーティングを行い業務改善に努めています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐	現在第三者評価は行っていません	今後実施できるようにすすめていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		定期的に外部研修や法人内で研修会を開催しています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐		保護者様との個人面談などを実施し、支援計画に反映させています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		子どもの支援に関わる職員に様子を聞きモニタリングを行って支援計画を作成しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		支援計画を作成したらすぐに共有し、計画に沿った支援を行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		適宜、保護者様と面談等を行いフォーマル、インフォーマルを活用してアセスメント及び日々の行動観察を行っています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐		記録の記入時や終礼時に気付いた点を全体で共有しています 療育の度に利用者の簡易なアセスメント（モニタリング時に取るのとは別のもの）をとっています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		チームで立案、作成したプログラム活動に沿って支援しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐		子どもたちから案を聞きとったりミーティングで話し合い固定化しないように工夫しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	☐		個別活動と集団活動をきっちり分けて活動しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	☐		担当表や活動内容やスケジュールを確認するミーティングを行いチームで協力して支援を行っています	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後に振り返りのミーティングを行い気付いた点等を共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録は終礼時に記入し、まとめたものを業務日報にし、支援内容の把握と課題分析に活用しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングをして、見直しを行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を組み合わせ支援を実施しています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		色々な活動の中で自己選択する場面を設けて支援しています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議が行われている場合は児童発達支援管理責任者が出席しています また、事前に事業所内で会議を行っています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援専門員と連絡をとり合い連携をとれるように努めています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様の承諾と依頼の基、学校との情報共有を行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議の開催をしたり、就学前に利用していた機関に連絡し発達状況や様子等を聞いています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供を行っています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて研修を受講しています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	活動する機会がありません	機会を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参画しています	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎的や定期的に電話やラインで状況をお伝えしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレの紹介や研修の情報を保護者様に伝えています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		支援プログラム・イベント内容等を説明しています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談や送迎時やその都度ラインや電話で保護者様の意見をお聞きしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		年に2度支援計画を作成し保護者の同意をもらっています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		色々な相談にも適切に対応しています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	コロナ以前は保護者会（親の会）を実施し交流できる機会を設けていました	今度親の会など開くことを検討する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情マニュアルに基づき迅速に適切な対応ができるよう心がけています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に、「みんなの木新聞」や「みんなの木ギャラリー」を発行しています FacebookとInstagramでデイの活動の様子を発信しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書類棚で厳重に保管しています	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々に合わせて配慮しています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	コロナ以前は、計画していたができていません	今後、地域住民と関係を築いていけるようなイベントを開催したい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定しています 周知するとともに、定期的に発生を想定した訓練を行っています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、定期的に避難訓練を行っています また、救命講習を受講し修了しています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に保護者からの聞き取りを行い適切に対応しています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無を把握し、医師からの指示書がある場合は保護者様よりお預かりし対応しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し安全管理に必要な研修や訓練を行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づき、安全確保に関しては避難場所について、家族等へ周知しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した場合、終礼で共有し、改善策を検討し重大事故へ繋がらないよう取り組んでいます	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		大阪府の虐待防止研修会に参加しています 終礼時には、その日の支援内容を確認しています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		モニタリングで協議の上、支援計画に記載し同意をもらっています	